

編集後記

2016年7月26日、神奈川県相模原市で19人の障害者が殺害され、27人が重軽傷を負うという戦後最大の被害者数を出す殺傷事件が発生してから8カ月が過ぎようとしています。この事件は私たちに命の尊さや障害者に対する差別の問題を投げかけました。

社会にとって有意義なのか、経済的な影響はどうか、といった基準で命の尊さを比較する風潮が社会の根底に潜んでいるのではないのでしょうか。また、障害者に対する差別についてもその歴史は古くて新しいものです。特に、容疑者が抱いていた「障害者は不幸を作ることしかできません」とする「優生思想」の考えは、残念ながら社会全体に見え隠れしているようにも思えます。悲惨な事件を風化させないためにも、そして二度と起こさないためにも、投げかけられた問題を忘れないように意識し続けたいと思います。

さて、北海道医療大学看護福祉学部学会誌第13巻1号を会員皆さまのお手元にお届けします。今回は、研究報告4本、総説3本、資料・その他4本の計11本の原稿を掲載することができました。多くの原稿を投稿していただきました会員の皆さま、そしてご多忙にもかかわらず快く査読を引き受けていただきました先生方に衷心より感謝いたします。

編集委員会

鈴木幸雄，鎌田禎子，内ヶ島伸也，近藤尚也

北海道医療大学看護福祉学部学会誌 第13巻 1号

2017年3月31日発行

発行者 平 典子

発行所 北海道医療大学看護福祉学部学会

編集担当 鈴木 幸雄，鎌田 禎子，内ヶ島伸也，近藤 尚也

印刷所 コミナミ印刷(株)
